

自己資本の構成に関する開示（三菱UFJ信託銀行・連結）

（単位：百万円、％）

国際様式の 該当番号	項目	平成27年3月末		平成26年3月末	
			経過措置による 不算入額		経過措置による 不算入額
普通株式等Tier1 資本に係る基礎項目（1）					
1a+2-1c-26	普通株式に係る株主資本の額	1,650,818		1,571,713	
1a	うち、資本金及び資本剰余金の額	741,176		736,593	
2	うち、利益剰余金の額	930,566		860,087	
1c	うち、自己株式の額(△)	-		-	
26	うち、社外流出予定額(△)	20,924		24,967	
	うち、上記以外に該当するものの額	-		-	
1b	普通株式に係る新株予約権の額	-		-	
3	その他の包括利益累計額及びその他公表準備金の額	259,498	389,247	57,629	230,516
5	普通株式等Tier1 資本に係る調整後少数株主持分の額	3,354		3,030	
	経過措置により普通株式等Tier1 資本に係る基礎項目の額に算入されるものの額の合計額	19,126		22,679	
	うち、少数株主持分等に係る経過措置により算入される額	19,126		22,679	
6	普通株式等Tier1 資本に係る基礎項目の額（イ）	1,932,798		1,655,052	
普通株式等Tier1 資本に係る調整項目（2）					
8+9	無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライセンスに係るものを除く。）の額の合計額	62,600	93,900	30,859	123,438
8	うち、のれんに係るもの（のれん相当差額を含む。）の額	36,965	55,448	19,135	76,541
9	うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライセンスに係るもの以外のものの額	25,634	38,452	11,724	46,897
10	繰延税金資産（一時差異に係るものを除く。）の額	-	-	-	-
11	繰延ヘッジ損益の額	441	662	△ 145	△ 580
12	適格引当金不足額	3,140	4,711	3,297	13,188
13	証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	-	-	-	-
14	負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額	-	-	-	-
15	退職給付に係る資産の額	73,036	109,554	30,349	121,398
16	自己保有普通株式（純資産の部に計上されるものを除く。）の額	-	-	-	-
17	意図的に保有している他の金融機関等の普通株式の額	-	-	-	-
18	少数出資金融機関等の普通株式の額	-	-	-	-
19+20+21	特定項目に係る十パーセント基準超過額	-	-	-	-
19	うち、その他金融機関等に係る対象資本調達手段のうち普通株式に相当するものに関連するものの額	-	-	-	-
20	うち、無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライセンスに係るものに限る。）に関連するものの額	-	-	-	-
21	うち、繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。）に関連するものの額	-	-	-	-
22	特定項目に係る十五パーセント基準超過額	-	-	-	-
23	うち、その他金融機関等に係る対象資本調達手段のうち普通株式に相当するものに関連するものの額	-	-	-	-
24	うち、無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライセンスに係るものに限る。）に関連するものの額	-	-	-	-
25	うち、繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。）に関連するものの額	-	-	-	-
27	その他Tier1 資本不足額	-		-	
28	普通株式等Tier1 資本に係る調整項目の額（ロ）	139,219		64,361	
普通株式等Tier1 資本					
29	普通株式等Tier1 資本の額（（イ）－（ロ））（ハ）	1,793,578		1,590,690	
その他Tier1 資本に係る基礎項目（3）					
30	31a	その他Tier1 資本調達手段に係る株主資本の額	-	-	-
	31b	その他Tier1 資本調達手段に係る新株予約権の額	-	-	-
	32	その他Tier1 資本調達手段に係る負債の額	-	-	-
		特別目的会社等の発行するその他Tier1 資本調達手段の額	-	-	-
34-35	その他Tier1 資本に係る調整後少数株主持分等の額	9,344		9,719	
33+35	適格旧Tier1 資本調達手段の額のうちその他Tier1 資本に係る基礎項目の額に含まれる額	70,133		80,152	
33	うち、銀行及び銀行の特別目的会社等の発行する資本調達手段の額	70,000		80,000	
35	うち、銀行の連結子法人等（銀行の特別目的会社等を除く。）の発行する資本調達手段の額	132		151	
	経過措置によりその他Tier1 資本に係る基礎項目の額に算入されるものの額の合計額	12,696		4,717	
	うち、為替換算調整勘定の額	12,696		4,717	
36	その他Tier1 資本に係る基礎項目の額（ニ）	92,175		94,589	

自己資本の構成に関する開示（三菱UFJ信託銀行・連結）

（単位：百万円、％）

国際様式の 該当番号	項目	平成27年3月末		平成26年3月末	
			経過措置による 不算入額		経過措置による 不算入額
その他Tier1 資本に係る調整項目					
37	自己保有その他Tier1 資本調達手段の額	-	-	-	-
38	意図的に保有している他の金融機関等のその他Tier1 資本調達手段の額	-	-	-	-
39	少数出資金融機関等のその他Tier1 資本調達手段の額	-	-	-	-
40	その他金融機関等のその他Tier1 資本調達手段の額	-	-	-	-
	経過措置によりその他Tier1 資本に係る調整項目の額に算入されるものの額の合計額	24,302		32,870	
	うち、無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライセンスに係るものを除く。）のうち、のれんに係るものの額	11,180		14,717	
	うち、無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライセンスに係るものを除く。）のうち、のれんに係るもの以外のものの額	10,766		11,559	
	うち、適格引当金不足額	2,355		6,594	
42	Tier2 資本不足額	-		-	
43	その他Tier1 資本に係る調整項目の額（ホ）	24,302		32,870	
その他Tier1 資本					
44	その他Tier1 資本の額（（ニ）－（ホ））（ヘ）	67,872		61,719	
Tier1 資本					
45	Tier1 資本の額（（ハ）＋（ヘ））（ト）	1,861,451		1,652,410	
Tier2 資本に係る基礎項目（チ）					
46	Tier2 資本調達手段に係る株主資本の額	-		-	
	Tier2 資本調達手段に係る新株予約権の額	-		-	
	Tier2 資本調達手段に係る負債の額	-		-	
	特別目的会社等の発行するTier2 資本調達手段の額	-		-	
48-49	Tier2 資本に係る調整後少数株主持分等の額	2,987		2,999	
47+49	適格旧Tier2 資本調達手段の額のうちTier2 資本に係る基礎項目の額に含まれる額	280,807		317,974	
47	うち、銀行及び銀行の特別目的会社等の発行する資本調達手段の額	280,807		317,974	
49	うち、銀行の連結子法人等（銀行の特別目的会社等を除く。）の発行する資本調達手段の額	-		-	
50	一般貸倒引当金Tier2 算入額及び適格引当金Tier2 算入額の合計額	13		18	
50a	うち、一般貸倒引当金Tier2 算入額	13		18	
50b	うち、適格引当金Tier2 算入額	-		-	
	経過措置によりTier2 資本に係る基礎項目の額に算入されるものの額の合計額	238,137		152,355	
	うち、その他有価証券評価差額金の額	262,101		164,830	
	うち、繰延ヘッジ損益の額	△ 24,366		△ 11,919	
	うち、土地再評価差額金の額	402		△ 555	
51	Tier2 資本に係る基礎項目の額（チ）	521,946		473,346	
Tier2 資本に係る調整項目					
52	自己保有Tier2 資本調達手段の額	0	0	0	0
53	意図的に保有している他の金融機関等のTier2 資本調達手段の額	-	-	-	-
54	少数出資金融機関等のTier2 資本調達手段の額	-	-	-	-
55	その他金融機関等のTier2 資本調達手段の額	0	0	0	0
	経過措置によりTier2 資本に係る調整項目の額に算入されるものの額の合計額	46,624		68,418	
	うち、無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライセンスに係るものを除く。）のうち、のれん相当差額に係るものの額	44,268		61,824	
	うち、適格引当金不足額	2,355		6,594	
57	Tier2 資本に係る調整項目の額（リ）	46,624		68,418	
Tier2 資本					
58	Tier2 資本の額（（チ）－（リ））（ヌ）	475,321		404,928	
総自己資本					
59	総自己資本の額（（ト）＋（ヌ））（ル）	2,336,773		2,057,338	

自己資本の構成に関する開示（三菱UFJ信託銀行・連結）

（単位：百万円、％）

国際様式の 該当番号	項目	平成27年3月末	経過措置による 不算入額	平成26年3月末	経過措置による 不算入額
リスク・アセット (5)					
	経過措置によりリスク・アセットの額に算入されるものの額の合計額	137,240		156,736	
	うち、無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライセンスに係るものを除く。)のうち、のれん、企業結合に係るもの以外の額	27,685		35,337	
	うち、退職給付に係る資産の額	109,554		121,398	
60	リスク・アセットの額の合計額(ヲ)	12,197,035		11,188,135	
連結自己資本比率					
61	連結普通株式等Tier1 比率((ハ)/(ヲ))	14.70%		14.21%	
62	連結Tier1 比率((ト)/(ヲ))	15.26%		14.76%	
63	連結総自己資本比率((ル)/(ヲ))	19.15%		18.38%	
調整項目に係る参考事項 (6)					
72	少数出資金融機関等の対象資本調達手段に係る調整項目不算入額	92,945		92,343	
73	その他金融機関等に係る対象資本調達手段のうち普通株式に係る調整項目不算入額	85,411		58,805	
74	無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライセンスに係るものに限る。)に係る調整項目不算入額	-		-	
75	繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に係る調整項目不算入額	528		310	
Tier2 資本に係る基礎項目の額に算入される引当金に関する事項 (7)					
76	一般貸倒引当金の額	13		18	
77	一般貸倒引当金に係るTier2 資本算入上限額	2,171		2,188	
78	内部格付手法採用行において、適格引当金の合計額から事業法人等向けエクスポージャー及びリテール向けエクスポージャーの期待損失額の合計額を控除した額(当該額が零を下回る場合にあっては、零とする。)	-		-	
79	適格引当金に係るTier2 資本算入上限額	57,665		54,312	
資本調達手段に係る経過措置に関する事項 (8)					
82	適格旧Tier1 資本調達手段に係る算入上限額	70,133		80,152	
83	適格旧Tier1 資本調達手段の額から適格旧Tier1 資本調達手段に係る算入上限額を控除した額(当該額が零を下回る場合にあっては、零とする。)	30,056		20,038	
84	適格旧Tier2 資本調達手段に係る算入上限額	280,807		320,922	
85	適格旧Tier2 資本調達手段の額から適格旧Tier2 資本調達手段に係る算入上限額を控除した額(当該額が零を下回る場合にあっては、零とする。)	16,829		-	